

# 2012年3月期 決算説明会

2012年4月27日  
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

本資料に記載されている業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、経済情勢をはじめさまざまな要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おきください。

2012年3月期  
**I 決算概況**

2013年3月期  
**II 経営方針**

2013年3月期  
**III 業績予想**

2012年3月期  
**I 決算概況**

2013年3月期  
**II 経営方針**

2013年3月期  
**III 業績予想**

## 2012年3月期 決算の総括



**前年比では「増収・増益」、公表見通し比では、全ての項目で見通しを上回った。**

- ◇「製品」、「開発・SI」を中心に伸長し、売上高は増収。増収に伴う売上総利益の増加により、全ての利益項目で増益。
- ◇受注高は「製品」、「開発・SI」、「サービス」全てにおいて前年比で増加。
- ◇2/1公表の上方修正見通しに対しては、受注を含む全ての項目で上回った。

# 2012年3月期 業績ハイライト（前年比）



## 主として増収効果により増益

	2011年度 実績		2010年度 実績		前年比	
	金額（億円）	利益率	金額（億円）	利益率	差異（億円）	増減率
売上高	2,977	—	2,830	—	+146	+5.2%
売上総利益	796	26.7%	748	26.5%	+47	+6.3%
販売費及び一般管理費	▲ 548	—	▲ 535	—	▲ 12	+2.4%
営業利益	247	8.3%	213	7.5%	+34	+16.3%
経常利益	249	8.4%	215	7.6%	+33	+15.7%
純利益	133	4.5%	114	4.0%	+18	+16.4%
受注高	3,024	—	2,852	—	+172	+6.0%
受注残高	1,366	—	1,318	—	+47	+3.6%

### 主な増減要因

#### 【売上高】

情報通信、エンタープライズ向けの製品販売や、開発案件が伸長し増加

#### 【売上総利益】

増収および不採算削減効果により増加

#### 【販売管理費】

人件費（主として賞与）の増加

#### 【受注高】

情報通信、エンタープライズ向けが好調に推移し、増加

#### 【受注残高】

主としてサービスが増加

# 2012年3月期 業績ハイライト (2/1業績見通し比)



## 全ての項目で業績見通しを上回る結果

	2011年度 実績		2011年度 業績見通し(2/1発表)		業績見通し比	
	金額(億円)	利益率	金額(億円)	利益率	差異(億円)	達成率
売上高	2,977	—	2,970	—	+7	100.3%
売上総利益	796	26.7%	795	26.8%	+1	100.1%
販売費及び一般管理費	▲ 548	—	▲ 550	—	+1	99.7%
営業利益	247	8.3%	245	8.2%	+2	101.2%
経常利益	249	8.4%	246	8.3%	+3	101.4%
純利益	133	4.5%	132	4.4%	+1	101.0%
受注高	3,024	—	3,000	—	+24	100.8%
受注残高	1,366	—	1,348	—	+17	101.3%

### 主な増減要因

#### 【売上高～利益項目】

見通しに対しては上ブレ

#### 【受注高】

情報通信、流通向けが好調に推移し増加

## 〈参考〉 2012年3月期 上期/下期 業績ハイライト (前年比)

	2011年度 上期実績		2010年度 上期実績		前年比	
	金額 (億円)	利益率	金額 (億円)	利益率	差異 (億円)	増減率
売上高	1,304	—	1,273	—	+31	+2.4%
売上総利益	352	27.1%	327	25.7%	+25	+7.7%
販売費及び一般管理費	▲ 265	—	▲ 269	—	+4	-1.6%
営業利益	87	6.7%	58	4.6%	+29	+50.7%
経常利益	88	6.8%	58	4.6%	+29	+49.7%
純利益	49	3.8%	27	2.1%	+22	+82.0%
受注高	1,420	—	1,284	—	+136	+10.6%
受注残高	1,435	—	1,308	—	+127	+9.7%

	2011年度 下期実績		2010年度 下期実績		前年比	
	金額 (億円)	利益率	金額 (億円)	利益率	差異 (億円)	増減率
売上高	1,673	—	1,557	—	+115	+7.4%
売上総利益	443	26.5%	421	27.0%	+22	+5.2%
販売費及び一般管理費	▲ 283	—	▲ 266	—	▲ 16	+6.3%
営業利益	160	9.6%	154	9.9%	+5	+3.4%
経常利益	161	9.6%	156	10.1%	+4	+2.8%
純利益	83	5.0%	87	5.6%	▲ 3	-4.0%
受注高	1,604	—	1,568	—	+36	+2.3%
受注残高	1,366	—	1,318	—	+47	+3.6%

【下期】販売管理費:人件費(業績連動に伴う賞与)の増加により前年比で増加

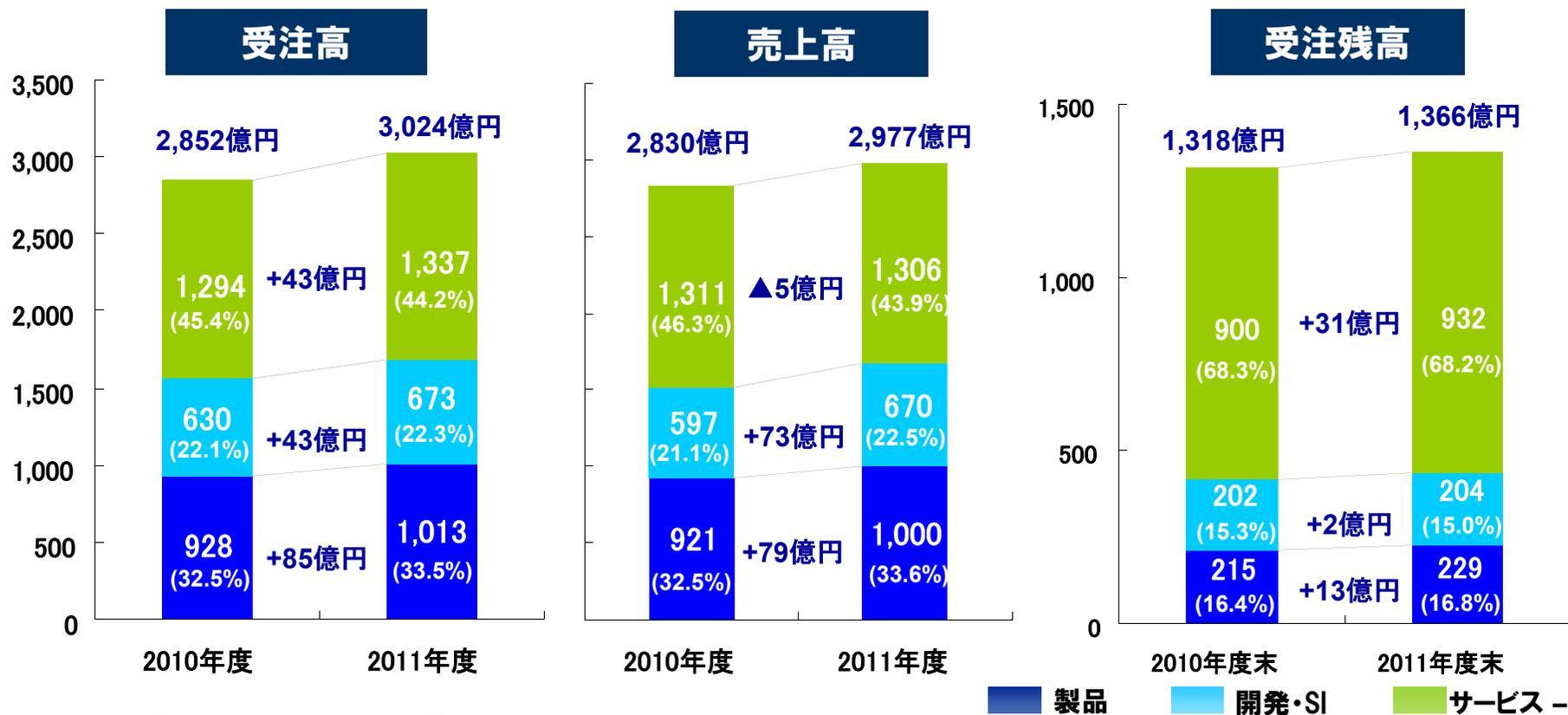
【下期】純利益:繰延税金資産の取り崩し(▲8.7億円)の影響により前年比で減少

# ビジネスモデル別実績

【受注高】 製品、開発・SI、サービス全てにおいて増加

【売上高】

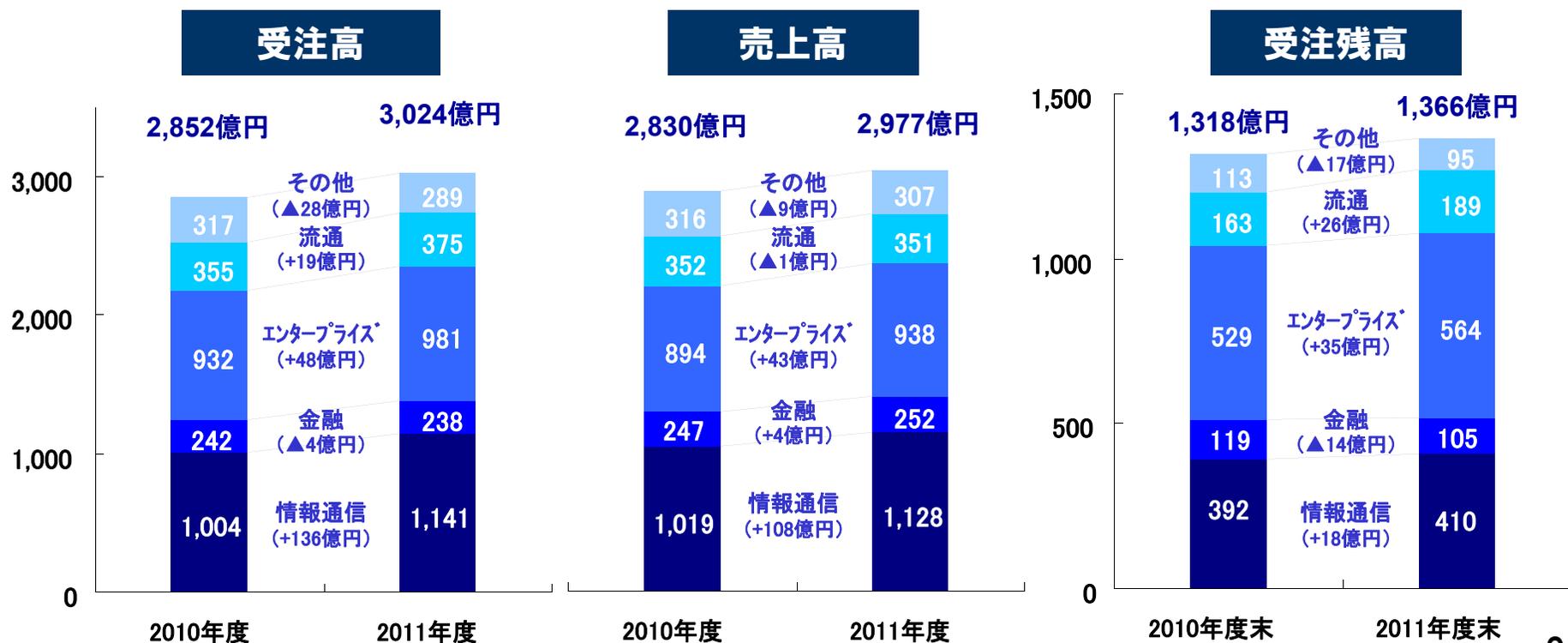
- ▶ サービス : 運用ビジネス増加もハードウェア保守が減少
- ▶ 開発・SI : 情報通信における大型案件等があり増加
- ▶ 製品 : 通信向けネットワークや、製造業向けのストレージ等が伸長し増加



# 事業グループ別実績



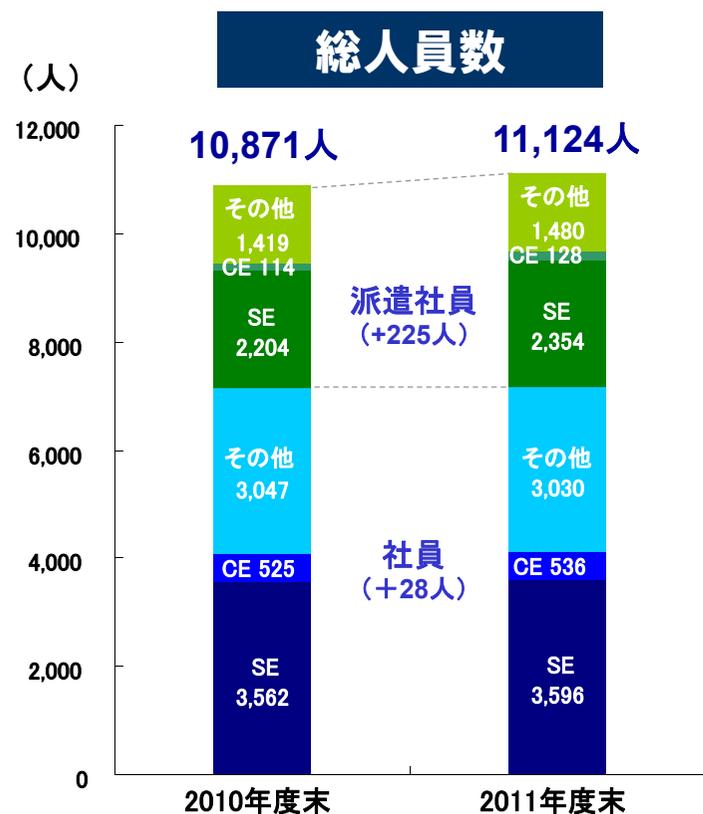
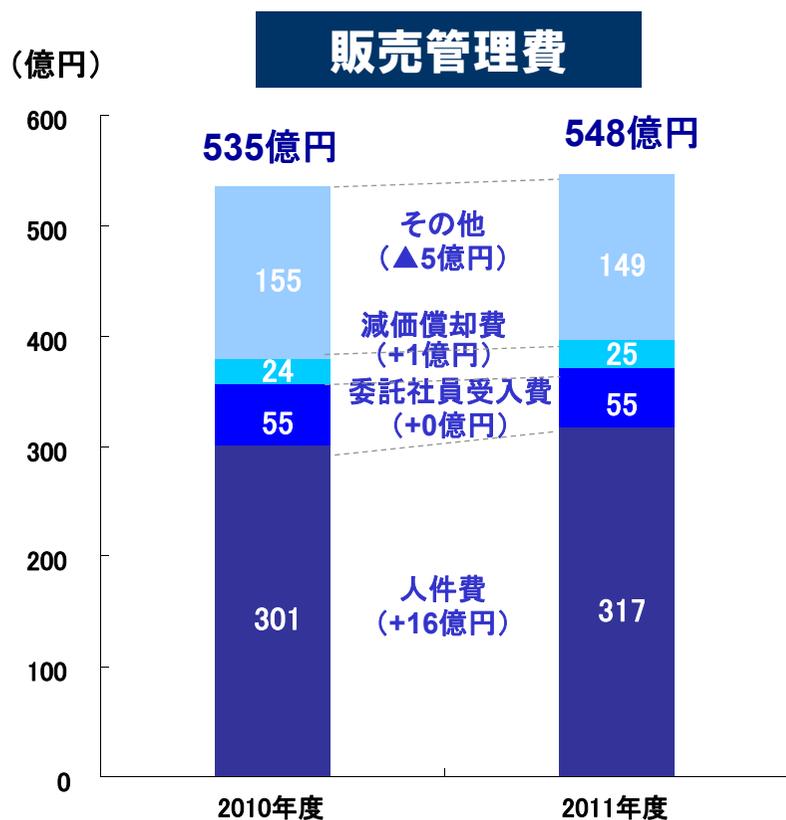
- ▶ 情報通信：データトラフィック増加対応等に伴うネットワークビジネス伸長により受注高、売上高ともに増加
- ▶ 金融：メガバンク向けを主体として受注高減少も、カード会社向けビジネスが伸長し売上高は増加
- ▶ エンタープライズ：公共、製造(自動車)向けビジネスが伸長し、受注高、売上高ともに増加
- ▶ 流通：商社、石油元売向けビジネスが伸長し受注高増加も、コンビニ向けを主体として売上高は減少



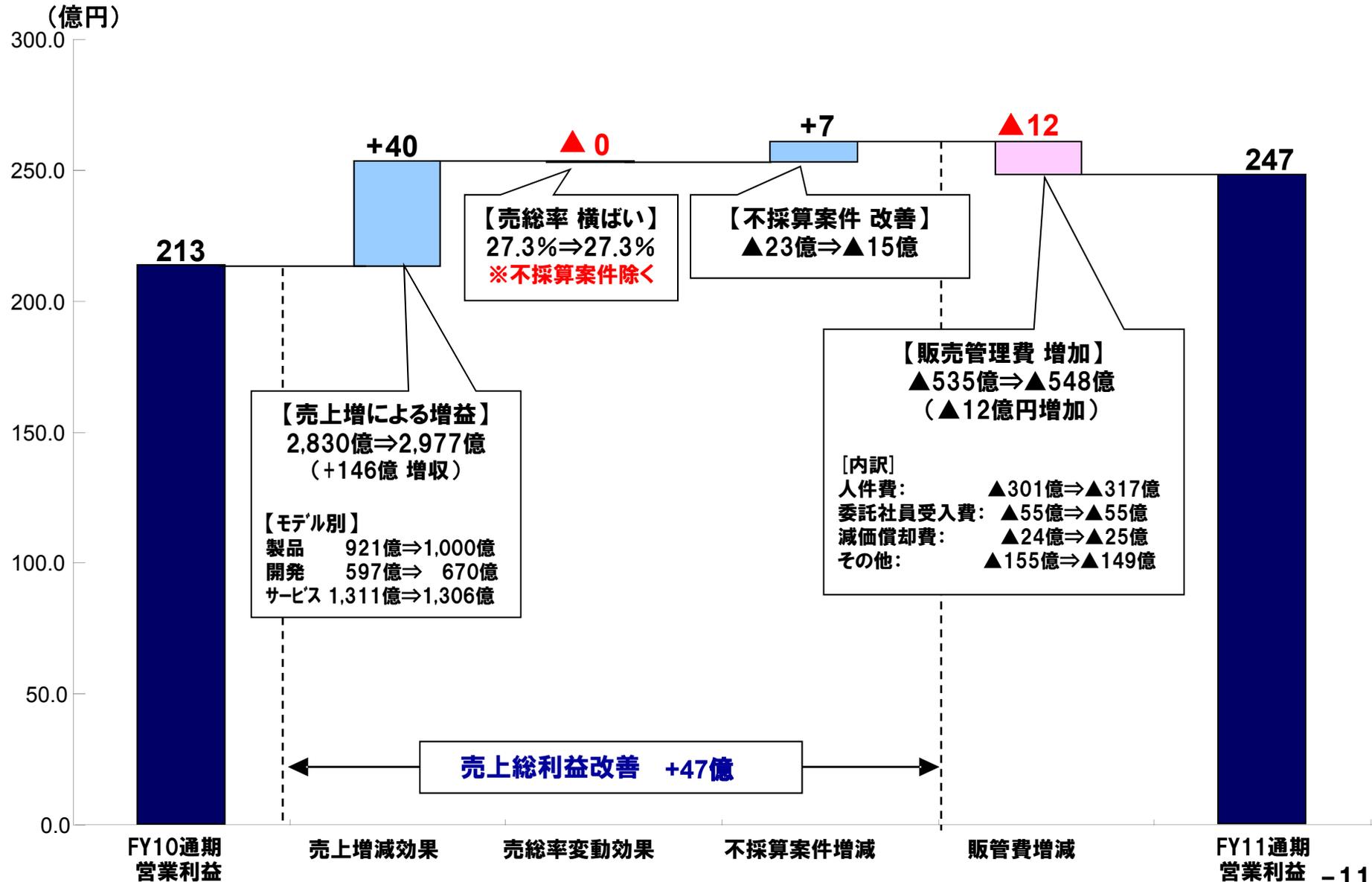
# 販売管理費 増加要因

諸経費削減継続も販売管理費総額は増加（前年同期比+12億円増加）

- ▶ 人件費：業績連動に伴う賞与増加 ※社員数 前年期末比+28人
- ▶ その他：諸経費削減により減少



# 営業利益増減要因（前年比）



## <参考> 営業外損益および特別損益

	2011年度 実績		前年対比		主な増減
	金額(億円)		前年実績 金額(億円)	差異 金額(億円)	
営業外収益	5.0		5.2	▲ 0.1	
営業外費用	▲ 3.5		▲ 2.6	▲ 0.8	投資事業組合運用損 ▲0.2億円
営業外損益合計	1.5		2.5	▲ 1.0	
特別利益	1.8		3.1	▲ 1.2	投資有価証券売却益 ▲1.4億円
特別損失	▲ 8.0		▲ 14.8	+6.8	資産除去債務の計上による影響 +6.7億円
特別損益合計	▲ 6.1		▲ 11.7	+5.5	

## <参考>B/S、連結キャッシュ・フロー

### ■連結貸借対照表

(単位:億円)

	2010年度末	2011年度末	増減額
流動資産	1,836	2,001	+165
固定資産	545	525	▲20
資産合計	2,381	2,527	+145
流動負債	716	779	+63
固定負債	106	159	+52
負債合計	823	938	+115
純資産合計	1,558	1,588	+29
負債純資産合計	2,381	2,527	+145

#### 【資産・負債等の主な内訳(前年同期比増減)】

■流動資産	
受取手形及び売掛金	602億円(▲1億円)
有価証券	449億円(+59億円)
■固定資産	
有形固定資産	288億円(▲10億円)
無形固定資産	77億円(▲9億円)
投資その他資産	160億円(▲0億円)
■流動負債	
支払手形及び買掛金	241億円(▲1億円)
前受収益	175億円(+16億円)
■固定負債	
長期リース債務	135億円(+49億円)
■純資産	
利益剰余金	1,084億円(+17億円)
自己株式	▲53億円(+10億円)

### ■連結キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	2010年度	2011年度	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	738	683	▲54
営業活動によるキャッシュ・フロー	149	212	+62
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲69	▲27	+42
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲134	▲89	+45
現金及び現金同等物の期末残高	683	778	+95
フリー・キャッシュ・フロー	79	184	+104

#### ■フリー・キャッシュ・フロー(FCF)

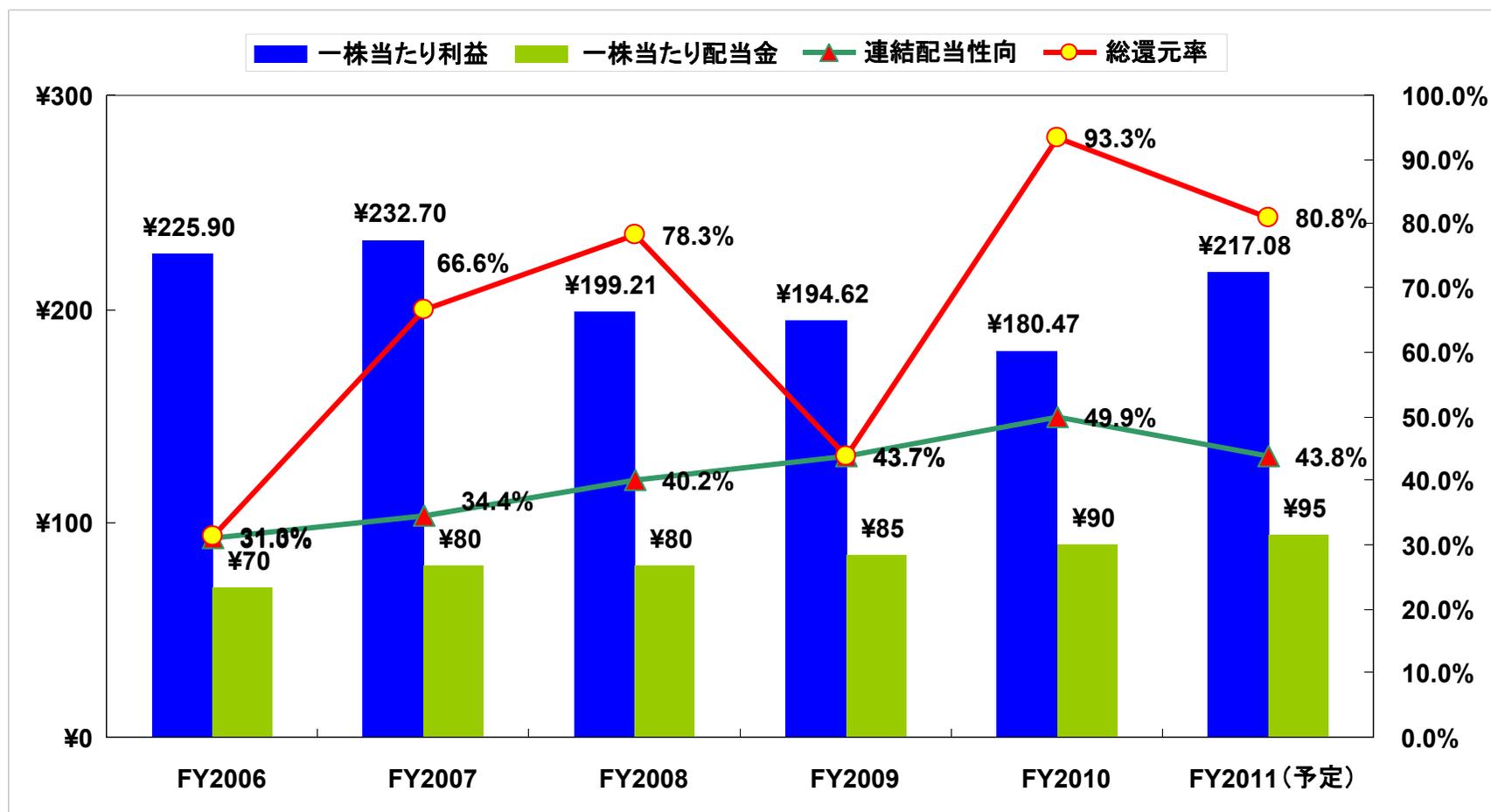
・税金等調整前当期純利益の増加および売上債権の回収による営業CFの増加に加え、無形固定資産取得による支出の減少に伴う投資CFの増加によりFCFは前期比で増加。

#### 【主な増減】

①営業CF	
・税金等調整前当期純利益の増加	+39億円
・売上債権の回収	+21億円
②投資CF	
・無形固定資産の取得による支出減少	+23億円
③財務CF	
・セールアンドリースバック収入の増加	+50億円

## 2012年3月期 株主還元予定

- ▶ 50円の期末配当を予定(通期配当95円の予定)
- ▶ 連結配当性向は43.8%
- ▶ 49.9億円/155.9万株の自己株を取得(配当を含めた総還元率は80.8%)



2012年3月期  
**I** 決算概況

2013年3月期  
**II** 経営方針

2013年3月期  
**III** 業績予想

## CTCグループを取り巻く環境①



### IT業界動向

#### 【FY12はIT投資が活発化し、市場は伸長する見通し】

- ▶ **震災を機に見直されるITの重要性**  
環境変化に伴って高まるニーズ
- ▶ **IT技術革新が生み出す社会インフラのイノベーション**  
従来のSierの枠を超えた新しい取り組み拡大
- ▶ **垂直統合化時代の幕開け**  
HW/SWの融合によるオールインワン製品拡大
- ▶ **顧客のグローバル化加速**  
成長の機会を求め、幅広い業種でグローバル化加速

**今後、Sierはより一層多様な役割が求められる**

## CTCグループを取り巻く環境②



業種分野	期待するビジネステーマ
情報通信	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ スマートフォン利用拡大による次世代ネットワーク (LTE/WiMAX etc.)</li><li>▶ 認証システムやスマートフォン向けサービスの開発・SI</li><li>▶ インターネット・放送サービス関連</li><li>▶ 法人向け協業ビジネス</li></ul>
公共・公益	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 大型インフラ共通基盤構築プロジェクト</li><li>▶ 復興・防災関連に伴うネットワーク、サービス品質向上のためのコンタクトセンター</li></ul>
金融	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 経営統合や中期経営計画に関連したビジネス</li><li>▶ ハイパフォーマンスコンピューティング、法制度対応</li></ul>
エンタープライズ 流通	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ クラウドコンピューティング</li><li>▶ ビッグデータを想定したプラットフォーム、BI、CRM関連ビジネス</li><li>▶ 電力使用抑制や災害対策としてのディザスタリカバリ</li><li>▶ 顧客の海外展開に伴うグローバルサポート</li></ul>

## CTCにおける強みの確認



### マルチベンダー インフラ構築力

常に最先端の製品・技術を入手し、**マルチベンダーで組み合わせる力**を発揮することにより、プライベートクラウド、大規模案件における**インフラ構築**を実現

### 顧客基盤

強みを持つ通信キャリアや、特定顧客特化型で深耕する流通業など**幅広い業種の顧客基盤**を有し、プライムコントラクターとして蓄積された**業種・業務ノウハウ**

### グループ総合力

幅広い製品調達から、ITフルアウトソーシングが可能な保守・運用サービス体制、データセンターを活かした**トータルITサービスをワンストップで提供**

+

### 変化し続ける DNA

- ▶ 多様化するニーズに対応する営業力
- ▶ 市場の最先端を行く技術力
- ▶ 高付加価値サービスの創出力

## 12年度 経営基本方針



12年度は中期成長戦略の結実により、  
CTCグループの更なる発展を成し遂げる年とする

**1** 重点ビジネスの競争力強化とトップラインの伸長

**2** 更なる成長実現に向けた投資の継続

**3** 収益体質の継続強化

## 中期経営ビジョン

- ▶ プライムコントラクターとして、  
**顧客ニーズにワンストップで対応するIT総合企業**
- ▶ 常に最新技術に取り組み、**高付加価値サービス・  
事業モデルを自ら創出し、市場を牽引する会社**
- ▶ **ユニークなビジネスモデルで成長し続け、  
常に市場から注目される業界トップの会社**

# 12年度 重点施策



## 収益拡大

- ▶クラウドビジネスの営業力強化
- ▶プライベートクラウド/大規模インフラ基盤ビジネスの拡大  
⇒〔製品、開発SI、運用・サービス〕
- ▶アプリケーションビジネスを通じたアカウント深堀り  
⇒〔開発SI、運用〕
- ▶パブリッククラウドのサービスラインナップ強化・拡販  
⇒〔開発SI、サービス〕

# 12年度 重点施策



## 中長期成長戦略投資

### ▶ 新規ビジネス確立に向けた取り組み強化

ビッグデータ関連製品の販売、M2M等新規ビジネス領域推進

### ▶ 海外展開の継続推進

更なる拠点拡充と現地パートナーの発掘

### ▶ 人材育成に対する投資継続

データサイエンティスト、グローバル人材育成

## 収益体質の強化

### ▶ コスト構造の最適化

### ▶ 不採算案件の撲滅

2012年3月期  
**I** 決算概況

2013年3月期  
**II** 経営方針

2013年3月期  
**III** 業績予想

# 2013年3月期 業績予想



	2012年度 業績予想		2011年度 実績		前年比	
	金額(億円)	利益率	金額(億円)	利益率	差異(億円)	増減率
売上高	3,150	—	2,977	—	+172	+5.8%
売上総利益	835	26.5%	796	26.7%	+38	+4.9%
販売費及び一般管理費	▲ 565	—	▲ 548	—	▲ 16	+3.1%
営業利益	270	8.6%	247	8.3%	+22	+8.9%
経常利益	270	8.6%	249	8.4%	+20	+8.2%
純利益	160	5.1%	133	4.5%	+26	+20.1%
受注高	3,330	—	3,024	—	+305	+10.1%
受注残高	1,546	—	1,366	—	+180	+13.2%

## 主な増減要因

### 【売上高】

情報通信、エンタープライズ向けを中心に伸長

### 【売上総利益】

増収により増加

### 【販売管理費】

人件費、外部要員費用の増加、戦略的投資費用増加

# 2013年3月期 業績予想(上期・下期)



	2012年度 上期業績予想		2011年度 上期実績		前年同期比	
	金額(億円)	利益率	金額(億円)	利益率	差異(億円)	増減率
売上高	1,370	—	1,304	—	+65	+5.0%
売上総利益	365	26.6%	352	27.1%	+12	+3.4%
販売費及び一般管理費	▲276	—	▲265	—	▲10	+4.1%
営業利益	89	6.5%	87	6.7%	+1	+1.3%
経常利益	89	6.5%	88	6.8%	+0	+0.7%
純利益	51	3.7%	49	3.8%	+1	+3.4%
受注高	1,650	—	1,420	—	+229	+16.1%
受注残高	1,646	—	1,435	—	+210	+14.7%

	2012年度 下期業績予想		2011年度 下期実績		前年同期比	
	金額(億円)	利益率	金額(億円)	利益率	差異(億円)	増減率
売上高	1,780	—	1,673	—	+106	+6.4%
売上総利益	470	26.4%	443	26.5%	+26	+6.0%
販売費及び一般管理費	▲289	—	▲283	—	▲5	+2.1%
営業利益	181	10.2%	160	9.6%	+20	+13.0%
経常利益	181	10.2%	161	9.6%	+19	+12.3%
純利益	109	6.1%	83	5.0%	+25	+29.8%
受注高	1,680	—	1,604	—	+75	+4.7%
受注残高	1,546	—	1,366	—	+180	+13.2%

## <参考>B/S、連結キャッシュ・フロー

### ■連結貸借対照表

(単位:億円)

	2011年度末	2012年度末	増減額
流動資産	2,001	2,083	+81
固定資産	525	498	▲26
資産合計	2,527	2,581	+54
流動負債	779	801	+22
固定負債	159	142	▲17
負債合計	938	943	+4
純資産合計	1,588	1,638	+49
負債純資産合計	2,527	2,581	+54

### ■連結キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	2011年度	2012年度	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	683	778	+95
営業活動によるキャッシュ・フロー	212	206	▲6
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲27	▲40	▲12
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲89	▲127	▲38
現金及び現金同等物の期末残高	778	817	+38
フリー・キャッシュ・フロー	184	166	▲18

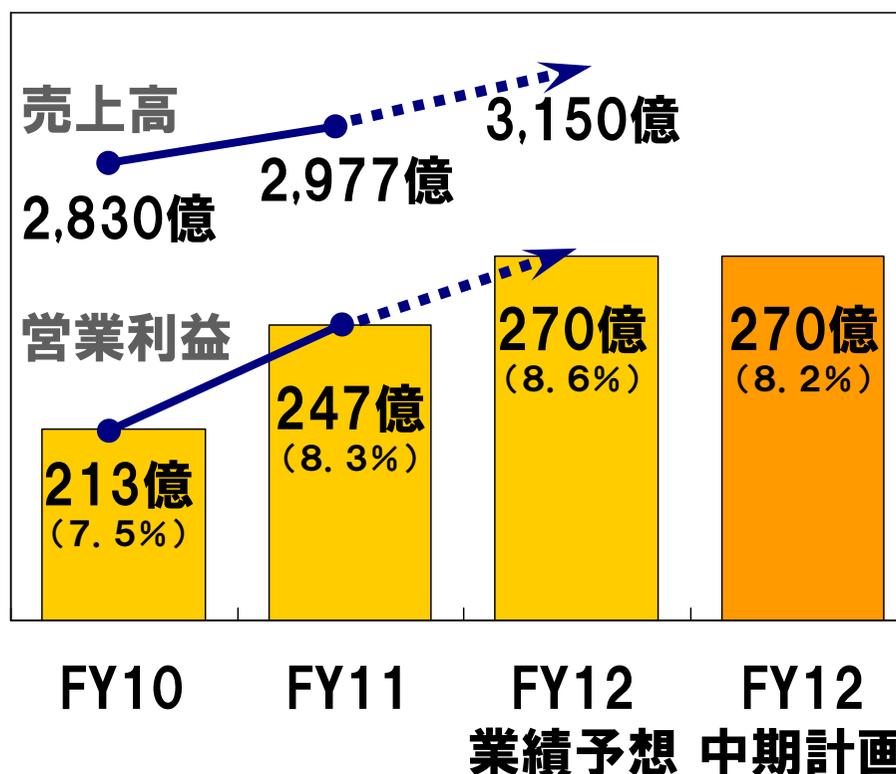
<参考>中期経営計画(FY10~FY12)

中期経営計画目標

売上高	営業利益	営業利益率
3,600億	300億	8.3%

**FY11**

売上高
2,977億
営業利益
247億
営業利益率
8.3%



**内部成長目標**

売上高
3,300億
営業利益
270億
営業利益率
8.2%



Challenging Tomorrow's Changes